

研修 事前・事後レポート

提出期日：事前前月15日、事後翌月5日

研修年月	年	月
研修科	科	
研修医氏名	1年次・2年次 【 】	

診療科記載 EPOC入力担当医：【 】

修了時のPG-EPOCにおける研修医評価にてコメント入力をお願いします。

事前レポート 下記と併せて裏面の経験したい「症候、疾病・病態」「手技」を記入し提出

1.研修の目標または抱負

2.経験したい（受け持ちたい）疾患

3.経験してみたい検査や処置

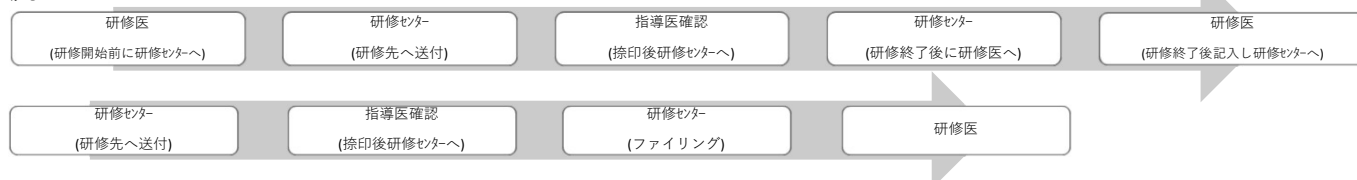
卒後臨床研修センター 確認印	指導医 確認印

事後レポート 下記と併せてPG-EPOCに研修医評価と経験した「症候、疾病・病態」「手技」を入力

1.研修の全体な感想

卒後臨床研修センター 確認印	指導医 確認印

提出の流れ



研修期間で経験したい「症候、疾病・病態」、「手技」に○を記入すること

各診療科にて経験できる項目は、研修医ワーキングルームのマトリックス表参照

経験すべき症候 29	外来または病棟において、下記の症候を呈する患者について、病歴、身体所見、簡単な検査所見に基づく臨床推論と、病態を考慮した初期対応を行う。	
	1	ショック
	2	体重減少・るい瘦
	3	発疹
	4	黄疸
	5	発熱
	6	ものの忘れ
	7	頭痛
	8	めまい
	9	意識障害・失神
	10	けいれん発作
	11	視力障害
	12	胸痛
	13	心停止
	14	呼吸困難
	15	吐血・喀血
	16	下血・血便
	17	嘔気・嘔吐
	18	腹痛
	19	便通異常（下痢・便秘）
	20	熱傷・外傷
	21	腰・背部痛
	22	関節痛
	23	運動麻痺・筋力低下
	24	排尿障害（尿失禁・排尿困難
	25	興奮・せん妄
	26	抑うつ
	27	成長・発達の障害
	28	妊娠・出産
	29	終末期の症候

経験すべき疾病・病態 26	外来又は病棟において、下記の疾病・病態を有する患者の診療にあたる。	
	1	脳血管障害
	2	認知症
	3	急性冠症候群
	4	心不全
	5	大動脈瘤
	6	高血圧
	7	肺癌
	8	肺炎
	9	急性上気道炎
	10	気管支喘息
	11	慢性閉塞性肺疾患（COPD）
	12	急性胃腸炎
	13	胃癌
	14	消化性潰瘍
	15	肝炎・肝硬変
	16	胆石症
	17	大腸癌
	18	腎盂腎炎
	19	尿路結石
	20	腎不全
	21	高エネルギー外傷・骨折
	22	糖尿病
	23	脂質異常症
	24	うつ病
	25	統合失調症
	26	依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）

手技①

医療面接	病歴聴取	
	診療録記載	
身体診察	視診	
	触診	
	打診	
	聴診	
	乳房診察	
	泌尿・生殖器診察	
臨床推論	産婦人科的診察	
	病歴情報と身体所見に基づき検査や治療を決定する	
	検査や治療の実施に当たりインフォームドコンセントをする手順を身に着ける	
	killer diseaseを確実に診断できるよう指導する	
基本的臨床手技①	気道確保	
	人工呼吸（バッグ・バルブ・マスクによる用手換気を含む。）	
	胸骨圧迫	
	圧迫止血法	
	包帯法	
	採血法（静脈血）	
	採血法（動脈血）	
	注射法（皮内）	
	注射法（皮下）	
	注射法（筋肉）	
	注射法（点滴）	
	注射法（静脈確保）	
	注射法（中心静脈確保）	

手技②

基本的臨床手技②	腰椎穿刺	
	穿刺法（胸腔）	
	穿刺法（腹腔）	
	導尿法	
	ドレーン・チューブ類の管理	
	胃管の挿入と管理	
	局所麻酔法	
	創部消毒とガーゼ交換	
	簡単な切開・排膿	
	皮膚縫合	
基本的検査手技	軽度の外傷・熱傷の処置	
	気管挿管	
	除細動	
	血液型判定・交差適合試験	
	動脈血ガス分析（動脈採血を含む）	
地域包括ケア・社会的視点	心電図の記録	
	超音波検査（心）	
診療録	超音波検査（腹部）	
	患者個人への対応	
	社会的な枠組みでの治療や予防	
	診療録作成	
	退院時要約作成	
	診断書作成	
	死亡診断書作成	